

平成28年度 サイエンス講座 「課題研究の進め方」 (1年理数コース対象)

目的 大学の研究者から課題研究の進め方に関する専門的な講義を受けることで、課題研究についての理解を深め、課題研究を円滑に進めることができるようにする。

日時 平成28年5月19日(木) 13時35分~15時25分

講師 広島大学生物生産学部 西堀正英 准教授



西堀先生の御講義を聞いている生徒たちの表情は、普段の学校生活で見せるものとはまた違った、生き生きとした輝きに満ちていました。西堀先生の問いかけに対し、生徒は自分の考えを積極的に発表したり、他者の意見に対する自分の意見を根拠をあげて説明したりする場面が多くみられ、科学的に探究することの楽しさを知ると同時に、他者と意見交換をしながら物事を考えることの大切さも学びました。

＜生徒の感想＞

- すごくおもしろかったです。どんなちっぽけなことでも、おもしろいと思い、実験してみれば、何かの発見とひらめきですごくおもしろいことができそうだと思います。
- 自由研究と課題研究の違いがよくわかりました。課題研究に必要な「観察、仮説の設定、実験での検証、考察」を意識して課題研究を進めていこうと思いました。
- 研究テーマを決めるためには普段から身の周りのことに興味を持って生活し、常に疑問を感じる事が大切だということがわかりました。
- 普段、当たり前のように使っている言葉も、実は、正しい意味を知らないことを実感しました。言葉の定義はとても大切で、案外、難しいものだということがわかりました。他の人に理解してもらうためには、正しい言葉の定義を知ること、それを他人が理解できるように表現する必要があることがわかりました。
- ある意見に対しクリティカルに考えて意見することや、仮説と検証の一連の流れを実際にやってみて、「研究っておもしろい!」と感じました。
- 「好きなものこそ上手になり」、それを繰り返すことで良い結果になる、ということが印象に残りました。